

# インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

| 大学名 (フリガナ) | 学部名 (フリガナ) | 所属ゼミナール名 (フリガナ) |
|------------|------------|-----------------|
| フリガナ) メジロ  | フリガナ) ケイエイ | フリガナ) イトウ       |
| 目白大学       | 経営学科       | 伊藤ゼミ            |

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

| チーム名 (フリガナ)          | 代表者名 (フリガナ)   | チーム人数<br>(代表者含む) | PPT 内動画<br>(有・無) | 動画使用<br>スライドページ |
|----------------------|---------------|------------------|------------------|-----------------|
| フリガナ) ガイコクジンチョウサグループ | フリガナ) アマガサタカシ | 4                | 無                |                 |
| 外国人調査チーム             | 雨笠高志          |                  |                  |                 |

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

独自調査に基づいた外国人観光客に向けた魅力の発信

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

訪日外国人が中国・韓国・台湾を多く占めている。そのうえでこの 3 か国に焦点を当てて日本にきた際の目的や地域を調べて新たなインバウンドを模索する。

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

2013 年から訪日外国人観光客数は急激に伸び始め、2019 年現在でも尚、増加傾向にあり日本食、文化や四季折々の景観に興味を示し日本を訪れる外国人が多くなっている。さらに 2020 年の東京オリンピック開催と 2025 年の大阪万博開催の予定から増々観光客の推移は伸びると考えられている。その訪日外国人の人口は全体の 7 割をアジア人が占めており、東京や大阪といった主要都市ではこういった状況に対していち早く対応し観光客向けのホスピタリティやインバウンドビジネスが盛んになっている。地域によって訪れる外国人は差異がありそれに合わせた対応もまた求められている。しかしながら、地域によってはその土地の魅力を活かしきれないところもある。都市部や有名観光スポットだけではなく、未だ隠れた観光地を見つけていくのも先を見通した重要な課題といえる。

### 3. 研究テーマの課題

訪日外国人観光客が増えていくなかで全体の約6割を占めている中国・韓国・台湾の3か国の日本国内での行動を把握することは、今後拡大していく日本のインバウンドビジネスとして極めて重要な課題である。さらに主要都市に次ぐ観光地の北海道ではあるが現状札幌などの有名観光スポット以外の場所の魅力が伝わっていない。その原因としては北海道の交通網の利便性の欠如や情報不足から生じる格差が広がっている。また訪日外国人観光客にとって北海道は冬や雪といったイメージが強くその結果秋の観光客数が伸び悩んでいる。そのうえで収集した情報から見えてくる結果を魅力の発信につなげられるかどうかがこの研究テーマの課題である。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

札幌などの有名観光スポット以外の交通網の増加、強化が必要であり、利便性を上げることで観光客の流れを地方にも促すことが出来るであろう。地方にも大雪山国立公園や美幌峠といった確かな魅力がある観光地があり、その魅力をより分かりやすく伝えるためには北海道観光局が発信している情報だけでは十分ではない。日本公式サイトをただ翻訳化するだけでは、隠れた魅力を伝えられることが出来ない。そこで観光局中心ではなく、国内国外問わずインバウンドビジネス関連企業に対して提携や出資を呼びかけ、訪日外国人観光客に特化した情報発信の場を作るべきである。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

インターネット、対人および書面にて目白大学留学生にアンケートを実施。日本のどこを訪れたいのか、どこに魅力があるのかを調査。そこから統計情報とアンケートの比較を行い日本の魅力的な場所や外国人の目的について理解する。

### 6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通して北海道観光の課題は交通アクセスの悪さ、観光地へのアクセス方法の分かりにくさに加え、春と秋は夏と冬に比べ訪れる人の人数が少ないことが分かった。

北海道各地域に行きやすくし、尚且つ春と秋にも観光客を呼び込むためには、交通設備の増設、日本の公式サイトを翻訳するだけでなく、より外国人にとっても分かりやすいような情報発信をすることが重要である。北海道とインバウンド関連企業が提携を行い、また個人に向けた出資を呼びかけることで全域の魅力を伝えることができるのではないかと考える。

### 7. 参考文献

村山慶輔 インバウンドビジネス入門講座 翔泳社 57頁

村山慶輔 インバウンドビジネス入門講座 翔泳社 56頁

日本政府観光局(JNTO)

日本貿易振興機構（JETRO） 中国の消費者の日本製品等意識調査

[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/01/820261128897b417/20180028.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/820261128897b417/20180028.pdf)

日本政府観光局 JNTO 訪日外客数（2019年7月推計値）

[https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data\\_info\\_listing/pdf/190821\\_monthly.pdf](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/pdf/190821_monthly.pdf)

訪日台湾人観光客の特徴 訪日ラボ

<https://honichi.com/visitors/asia/taiwan/character/>

北海道観光の現況 北海道経済部観光局

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/toukei/2018genkyou\\_honbun.pdf](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/toukei/2018genkyou_honbun.pdf)

北海道観光入込客数調査報告書 北海道経済部観光局

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/H30\\_irikomi\\_honbun.pdf](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/H30_irikomi_honbun.pdf)

観光庁 訪日外国人消費動向調査（2017年）

<http://www.mlit.go.jp/common/001226298.xls>

JNTO 訪日旅行データハンドブック（2018年） 中国・韓国・台湾を集計して作成

[https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/jnto\\_databook\\_2018.pdf](https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/jnto_databook_2018.pdf)

北海道経済部観光局 訪日外国人来道者（実人数）の推移 平成22年度～平成29年度を抜粋して作成

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/file.jsp?id=1137225>

## 「The Hokkaido Budget Bus Pass」 Overall Route Map

[https://www.bus.hokkaido.com/en/plan\\_map\\_hbbp-en](https://www.bus.hokkaido.com/en/plan_map_hbbp-en)

大雪山国立公園連絡協議会 環境省 フォトギャラリー

<http://www.daisetsuzan.or.jp/photogallery/>

[弟子屈なび](#)

<https://www.masyuko.or.jp/>

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナル関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**